

## 88 「ガイドレシオの落とし穴」

ニュースレター (メルマガ・エコガイドジャーナルより厳選・抜粋レポート) 2013

・・・ザ・情報・知識・・・

### ◇解説

ガイドレシオとは顧客対ガイドの人数比のことである

(そのルートやツアーでガイドが安全管理を行えると予想される参加者総数)

それを決めているのはガイド組織 (日本山岳ガイド協会・尾瀬ガイド協会など)

もしくはツアー登山協議会 (日本旅行業協会など) である。

ただし、その両者はガイド視点と旅行会社視点のため異なっている

(例) 尾瀬ヶ原 1 : 14      ガイド協会 1 : 21      旅行業界

### ◇現状 ガイドはガイドレシオの範囲でガイドしているため

安全管理において、手薄になってしまう

人数が多いのでめんどくさい

人数が多いので時間がかかりすぎる

人数が多いので絶えず「不安」がつきまとう

### ◇課題

そもそもレシオを順守している方は少ない (パッケージツアー)

ガイドレシオの範囲でガイドする場合上記の内容で怪我や

アクシデントが多発するもしくは予防的に防げない

ガイドレシオにおいては「安全面」からしか考えてない

「満足度や自然解説、サービス」的な視点は考慮されていない。

### ◇結論

**ガイドレシオを設定する事は意味が無い**

パッケージツアーにおいては守る人は少ない

守っていると仕事はもらえない

守っていてもガイドの能力や、ルートにより安全を  
管理できない

レシオがあるので、逆にマックスの人数比で案内してしまう

### ◇解決

**ガイドレシオよりも「自分レシオ」を順守する**

そのルートやツアー内容において、ガイド自身の能力でガイドする

能力的に無理と判断する場合はオーダーを受けない

「ガイドレシオに従わない方が長期的にガイド活動が継続出来る」